

平成 28 年度 関東支部運営委員会（第 4 回） 議事録

日 時：平成 29 年 2 月 24 日（金）14：00～17：00				会 場：地盤工学会会館				
支部長	龍岡 文夫	○	副支部長	大野 昌二	×	副支部長	田中 誠	○
副支部長 発表会 G リーガ-	北誥 昌樹	×	副支部長	青木 雅路	×	顧問	石原 研而	×
顧問	太田 秀樹	×	顧問	國生 剛治		監事	佐藤 謙司	×
監事	石井 武司	×	幹事長	峯岸 邦夫	○	副幹事長	吉田 潔	△
副幹事長	石川 敬祐	○	山梨県 G リーグ-幹事	後藤 聡	×	茨城県 G リーグ-幹事	松島 亘志	×
栃木県 G リーグ-幹事	西村 友良	×	群馬県 G リーグ-幹事	若井 明彦	×	神奈川県 G リーグ-幹事	森川 嘉之	×
千葉県 G リーグ-幹事	若月 洋朗	○	埼玉県 G リーグ-幹事	川本 健	×	研究委員会 G リーグ-幹事	渡邊 康司	△
会員 SG リーグ-幹事	鈴木 亮彦	○	会員 SG リーグ-幹事	田中 剛	○	栃木県 幹事（代理）	清木 隆文	○
事務局	青木 美智子	○						

○：出席，×：欠席，△：遅刻，空欄：未定

### 1. 前回議事録の確認

- ・平成 28 年度第 3 回運営委員会議事録（12/5）

【別紙-1】

→確認の上、承認された。

### 2. 最近のスケジュール

- ・平成 28 年度第 2 回評議員会：平成 28 年 3 月 6 日（月）

【別紙-2】

特別講演会：「近年の洪水災害のメカニズムと減災に向けた先端研究の動向」

講師 山田 正 氏（中央大学理工学部 都市環境学科 教授）

- ・平成 29 年度支部総会：平成 29 年 4 月 28 日（金）

【別紙-3】

特別講演会：「海洋鉱物資源開発に関する我が国の政策と産官学での取り組み」

講師 山路 法宏 氏（(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構）

→第 2 回評議委員会及び平成 29 年度支部総会のスケジュールとその内容を確認した。

→評議委員会後の特別講演会には、2/24 時点で一般参加者が 40 名程度である。

→支部総会後の特別講演会の案内をメールにて周知し、引き続き参加者の募集を行う。

### 3. 本部・他支部に関する連絡・報告・検討依頼事項

- (1) 平成 29 年度支部「事業計画案（まえぶん、本文）・正味財産増減予算案」提出について

【別紙-4】

→事業計画案および正味財産増減予算案を確認した。

- (2) 「永年継続特別会員表彰」・「永年にわたる正会員への感謝状」について

【別紙-5】

→特別会員及び正会員の表彰リストを確認し、支部総会で表彰することが承認された。

- (3) 平成 28 年度 本部・支部連絡協議会（岡山大会時に開催）における支部質問に対する本部回答

【別紙-6】

→（保有書類の保管管理）本部には、支部の書類保管を規定する規約はない。各支部で対応してよい。

→（電子図書室の利用料を会費と統一できるか）現状では統一して納入することは困難である。

→（功労章の副賞）平成 26 年度に総務部会で副賞の楯授与を取りやめた。希望者には有料で用意することができる。

→ (研究発表会優秀論文発表賞の連続しての受賞制限) 2年連続での受賞を制限している。賛否両論あるが、この制度ではより多くの若手会員へ賞をとるチャンスを与えるものであり、現状維持が妥当であると判断した。

#### 4. 支部からの周知・連絡・検討事項

##### (1) 平成 29 年度予算案

【別紙-7】

→平成 29 年度の当期正味財産増減額は△919,500 円を計画する。学会活動を維持していくためには、これ以上の予算の切り詰めは困難であり、この赤字部をできる限り縮減していく努力が必要であることが確認された。次年度の取組みとして、研究委員会が自活して活動を継続することや、研究成果を用いて「書籍出版+講習会」が今後は必要となる。

##### (2) 平成 29 年度人事案

【別紙-8】

→人事案が確認された。幹事委員が少ない県 G は、幹事委員の募集に努めることが確認された。

##### (3) 支部長公募の件

【別紙-9】

→2/6 までの公募期間において、安田進先生（東京電機大）が立候補された。他の候補者がいないため、安田先生を次期支部長として評議員会にて審議することとなった。

##### (4) 学会 70 周年・平成 31 年度（2019 年度）本部・研究発表会について

→委員長は桑野二郎先生（埼玉大）とし、委員長と支部幹事が連動して組織作りや会場リサーチを行う必要があることが確認された。2018 年末までに会場の候補地を提案する必要がある。

##### (5) H 28 年度予算執行状況について（1 月末現在）

【別紙-10】

→平成 28 年度は、当初△260 万円であったが、年度末には△200 万円程度となることが予想され、当初予算から 60 万円程度赤字部を抑制できることが報告された。

#### 5. メール審議決定事項の確認

・平成 28 年度「地盤工学貢献賞」候補ご推薦のお願い→関東支部からの推薦はなし。

#### 6. 開催結果、進捗状況の報告（前回運営委員会以降、開催分を記載）

##### (1) 栃木県グループ 地盤を学ぶ「第 11 回地盤工学会関東支部栃木県グループ講演会

-栃木の地質と地震災害 震災を防ぐ取り組み-」11/24 参加者数：82 名【開催済】

##### (2) 会員サービスグループ「第 11 回ソイルストラクチャーコンテスト つくって、揺らそう

2!～液状化対策工～」11/26 参加者数：48 名【開催済】

##### (3) 出前講座：大田区開催の住宅フェア講演会 11/27 参加者数：30 名【開催済】

##### (4) 茨城県グループ「電力中央研究所(我孫子地区) 見学会」12/2 【開催済】

##### (5) 協賛行事「第 8 回メタンハイドレート総合シンポジウム(CSMH-8)」12/7-8 参加者数：272 名

【開催済】

##### (6) 共催行事：埼玉県グループ「平成 28 年度 技術講演会」1/24【開催済】

##### (7) 栃木県グループ勉強会「杭基礎・地盤改良工事の適切な設計・施工を確保するために」2/1 参加者数：55 名【開催済】

→各行事の開催結果および開催予定行事の内容が確認・報告された。

#### 7. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項

##### (1) 会員サービス G

【別紙-11】

##### (2) 茨城県 G

【別紙-12】

(3) 栃木県 G	【別紙-13】
(4) 群馬県 G	【別紙-14】
(5) 山梨県 G	【別紙-1】
(6) 千葉県 G	【別紙-15】
(7) 埼玉県 G	【別紙-16】
(8) 神奈川県 G	【別紙-17】
(9) 研究委員会 G	【別紙-18】
(10) 支部発表会実行委員会	【別紙-19】
(11) 企画総務 G	【別紙-20】

→各 G より、平成 28 年度活動報告と平成 29 年度事業計画が説明された。

→研究委員会 G では、新刊「法律家・消費者のための住宅地盤 Q&A」を 4 月出版予定である。また、出版に伴い講習会の実施も計画する予定である。次年度の新設研究委員会として 2 テーマ立ち上げることが予定されている。

→GeoKanto2017 に関して、清木先生より開催概要が説明された。

- ・研究委員会 G セッション、栃木県のテーマセッションを企画する予定であることが報告された。
- ・投稿論文は、Web からダウンロードする方式に変更する。これに伴い DVD の発送は行わない。
- ・プログラムや会場案内の小冊子を配布する予定である。
- ・赤字を縮小する取組みとして、スポンサーを募集することが説明された。スポンサーの広告媒体は今後も検討していく予定とのこと。

## 8. その他

### (1) 退会・等級変更届

なし

### (2) 顧問制度の今後の在り方に関して

- ・顧問の任期は 3 年間であるが、本人から申し出が無い限り継続していただく。
- ・顧問の職務内容は、その人脈を駆使して特別講演会等の講師選定や表彰案件の審議とし、定例の運営委員会メンバーからは外れることとする。但し、別途顧問会議を開催し、上記の内容に焦点を絞って活動していただく。

### (3) 次回運営委員会開催日程

平成 29 年\*\*月\*\*日 (平成 28 年度は第 1 回を平成 28 年 6 月 9 日に開催)

→後日、日程調整をおこなう。